

令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録

閑谷福祉会地域ホーム（ヴィラしずたに・ひまわり・日笠ホーム）

日 時:2025 年 12月18日(火)13:00~15:30

場 所:ヴィラしずたに(会議・見学)/ひまわり(見学)/日笠ホーム(見学)

参加者:ご利用者(S 様) ご家族(F 様) 地域の方(A 様) 行政担当者(O様)

地域ホーム(柏 山本洋)

計6名

【見学/ご意見・質問】

①ひまわり

5 名定員で 4 名が入居されている。ご利用者は日中働きに出かけており、朝夕に食事作りや掃除等をしてくれる世話人さんが来てくれている。

・ご利用者の年代的にはどのくらいか？

→20 代~50 代

・包丁とかも置いているのか？

→キッチンには置いているが、夜間は施錠している

・皆一緒にご飯は食べるのか？

→食事時間には幅があるが、大体朝食は 7:00~、夕食は 18:00~となっている。

・ここにグループホームがあるのは知っていたが、中に入ったのは初めて

・世話人をしている方と知り合いで、話は聞いた事があった

②日笠ホーム

(ご利用者の方 1 名と少しお話をされる)

・ここの暮らしはどうですか？

→「不便です」

・不満とかはないですか？

→「買物に困る。車がないと動けないので。」

・移動販売車とか来てもらえないのか

→お金の管理とかで難しいところもある

・ご飯は美味しいですか

・何のお仕事をされているのですか

・日中は皆さん、どこへ出かけられているのか？

→介護保険サービスでいうデイサービスのよう事業所に行かれている。

③ヴィラしずたに

・浴室は介護浴槽とかではないのか？広さは一緒か？

→家庭にあるような浴室になっている。現状ではそこまで不便さを感じていない。ユニット毎の広さも一緒である。

・以前に実地指導で来たことがある。高齢者のGHがあった時の話だが。

【会議内容】

1.出席者自己紹介

「ご利用者Sさんから伝えたいこと、Sさんへの質問」

- ・『困っている事はないですか?』
→「ない」「お墓参りにいきたい」
- ・『ヴィラで何のイベントが楽しいですか?』
→「デイサポ(日中活動場所)で、皆でつくっている。備前焼。」
- ・「昨日、外出していた」「散髪した」(移動支援サービスを活用)
- ・「いいことあった」「鉛筆、スケッチブック、本屋さん、宮脇書店でコロコロコミック月間号を買った」

2.地域連携推進会議について

- ◆ 管理者より趣旨・目的について『地域連携推進会議の手引き』を用いて説明(資料にて)
施設と地域の連携による①ご利用者と地域との関係づくり、②地域の方への施設やご利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④ご利用者の権利擁護を目的とすることを説明。

3.事業所概要説明

- ◆ 閑谷福祉社会地域ホーム事業計画、概要について説明(資料にて) 説明:山本職員
 - ・2007年4月障害者自立支援法施行に伴い、『ケアホームヴィラしずたに』設立
 - ・2014年 グループホーム一元化により、共同生活援助(介護サービス包括型)となる
 - ・ヴィラしずたに男性ユニット、女性ユニット(各9名)
 - ・ひまわり(男性5名定員)、日笠ホーム(男性5名定員)
 - ・2024年にやすらぎを閉鎖。

4.事業所の取組み、課題 説明:山本職員

- ◆ 事業所の強み
 - ・一般就労をしている方から、生活介護サービスを利用している方まで幅広く対応している
 - ・ヴィラしずたには当直体制のあるグループホームになっている
 - ・ひまわりは駅や役場が近く、自立した生活をするにはよい立地
 - ・日笠ホームは車を持っている方の駐車スペースもあり、家賃が安い
 - ・限られた職員が対応するため、連携が取りやすい
 - ・防災対応について、1Fは空いている部屋もある。何かあった時には緊急避難先として地域の方も受け入れができる。
 - ◆ 行事
 - ・コロナ禍でストップしていた行事を少しずつ再開してきている
 - ・ご利用者から希望のあった日笠地区の盆踊りへの参加
 - ・ラーメン屋さんによる出張ラーメン
 - ・ピザ作り
- 課題) 独自の余暇を提供する事が難しくなっているが、何か楽しめる企画をしたい

ご意見)

- ・「職員数も少なく、他の施設でもイベントや余暇の提供は難しくなっている」
- ・「ちょっとした写真とかでも、本人が写っていると顔を見られると嬉しい。3ヶ月に1回でも写真とかあると嬉しい」

◆ 研修

- ・必須の研修(災害BCP、感染症対策、虐待防止・身体拘束適正化)を実施
- ・毎月の会議で、新聞・ニュース等の記事を取り上げ、皆の意見を出し合う機会
- ・法人内研修、法人内委員会への参加

◆ ひやりはっと、事故報告

- ・投薬関係が多い6件(服薬したはずの薬が床に落ちている、誤薬)
- ・所在不明
- ・転倒・転落によるケガ(てんかん発作による転倒、ふらつきによる転倒)、入院(ベッドからの転落による骨折)

課題) 年齢の高まりとともに転倒によるケガ、病気で通院件数も増えており、以前より医療対応に要する時間も増えてきている(整形外科では待ち時間が長時間に及ぶケース、岡山市内の病院では往復と診察で半日以上かかる等)。

ご意見)

- ・「高齢者施設の状況を知っているが、口の中にある(残っているもの)薬を確認するなど、小さなことの積み重ねをするしかない」
- ・「転倒については、少ない人数でも全体を見渡せるように。仕方ないで済ませてはいけませんが、状況もわかる」
- ・「何か、家族にもできることがあればと思うが、横のつながりががないので…」

◆ ご要望、相談について

- ・生活環境、支援内容について
- ・職員の対応について
- ・職員による不適切な対応について

課題) ご利用者からご家族へ相談があり、職員への確認後、通報をしたケースがあった。行政からは虐待とまでは言えないが不適切な対応(背中を押して出勤を促す、利用者の所有物を雑に扱った)として、再発防止をするよう指示を受けた。ご利用者、ご家族に辛い思い、信用を損なう対応をしてしまった事について謝罪している。

ご意見)

親の立場としては、信じてお任せしている。ずっと見える訳ではないので、こどもの反応で解釈するしかない。透明性は大事だと思うが、帰省の時に玄関口で会うくらい。今も職員の名前と顔が分からない状態である。

5. 意見交換(ご意見、感想、質問)

- ・タバコを吸われる人はいるのか?
→日笠ホームに1名居られるが、室内では吸わないルールとなっている。

- ・お部屋が散らかっていたので、火事が怖いと感じた。
- ・ひまわり、日笠ホームの安否確認はどうしているのか？
→職員(世話人)がいる時のみ。それ以外の安否確認は行っていない。今まで大きな事故はなかったが、9月にベッドから落ちて大腿骨を骨折するケースがあり、世話人が来てから発見した。
- ・非常通報装置とかがついていないのか？
→電話はある。携帯電話を持っている方もいる。基本的には何かあれば電話をかけられる方が住まわれている。
- ・人材不足があるのだと感じた。強みでは限られた人数で連携できるとなっているが、職員も楽になれるような形にできれば。
- ・今回ドキドキしながら参加させてもらったが、いろいろ知る事ができ、スタッフの大変さも分かった。
- ・地元ではあるが日笠ホームがある事は知らなかった。今回説明してもらって分かった。普通の民家のような建物が合っているのかも。
- ・ひまわりがそこにあるとは知らなかった。事業所内を見学する機会はなかなかないので、利用者の生活の様子も知ることができた。

6.管理者より

本日は第一回の地域連携推進会議へのご参加ありがとうございました。時間も予定より超過してしまい申し訳ありませんでした。次年度にも開催予定にしておりますので、委員の皆さまには任期为2年でお願いしたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



(ヴィラしずたに)



(ひまわり)



(日笠ホーム)

